

令和 2 年度

活動事例発表報告書

I 東・南信ブロック

市町村老人クラブ連合会ブロック研修会

活動事例発表から

一般財団法人長野県老人クラブ連合会

目 次

市町村老人クラブ連合会ブロック研修会

<東信会場>

上 田 市	上田地域福寿クラブ連合会.....	1
佐 久 市	内山町老人クラブ.....	5

<南信会場>

伊 那 市	川北町高齢者クラブ.....	9
駒ヶ根市	市場割寿老会.....	13
岡 谷 市	岡谷市高齢者クラブ連合会.....	17
豊 丘 村	福島高齢者クラブ福寿会.....	21

※中・北信ブロック版は「活動発表報告書Ⅱ」に掲載

(参考)「活動発表報告書Ⅱ」目次

<中信会場>

松 本 市	松島熟年者会.....	25
塩 尻 市	原新田新寿会.....	29
安曇野市	ひといちばシニアクラブ.....	33

<北信会場>

長 野 市	若槻団地友愛クラブ.....	37
飯 綱 町	福井団地福寿会.....	41
小 川 村	稲丘西老人クラブ.....	45
中 野 市	大熊松寿会.....	49



上 田 市

上田地域福寿クラブ連合会

1 老人クラブ（単位クラブ）の状況

(1) 会員数等

区 分	会 員 数 (人)			備 考
	男 性	女 性	合 計	
平成 30 年度	1,123 人	1,234 人	2,357 人	
令和元年度	1,090 人	1,215 人	2,305 人	
令和 2 年度	1,083 人	1,178 人	2,261 人	

(2) クラブの運営

「上田市高齢者クラブ連合会」は平成18年3月6日 旧上田市、丸子町、真田町、武石村の市町村合併に伴って、旧4市町村の老人クラブも平成19年4月1日に設立され、「上田市高齢者クラブ連合会」として発足しました。市の人口15万6千に対して、97クラブ、会員数 5,008人です。

その中で上田地域の「上田地域福寿クラブ連合会」は40クラブ、会員数 2,261人、男性 1,083人、女性 1,178人です。昭和35年6月発足し、今年で60周年。役員会は会長、副会長、理事、監事、代議員、支部長で構成されており、また、専門部会として、総務教養部、保健部、社会福祉部、女性部が各役割を持って、各行事の計画及び運営を行っています。



2 自治区（町会）との関係

公民館、自治会館等を利用して、お茶のみサロンの開催、健康ウォーキングの実施、施設訪問の実施を自主的に行い公園の清掃や花壇の整備等も各クラブで行っています。

3 活動（事業）の取組状況（昨年実績）

- 1) 定期大会：6月上旬、毎年500人ほど参加、表彰、講演会を実施
- 2) スマイルボーリング大会：6月中旬、20チーム以上参加、優勝表彰、景品
- 3) グラウンドゴルフ大会：7月上旬、50人以上参加、優勝表彰、景品
- 4) 三世代ファミリーゲートボール大会：8月上旬、4チーム以上参加、小学生を含めた三世代で開催。優勝表彰、小学生には図書券等の参加賞



ファミリースマイルボーリング大会

- 5) ゲートボール大会：9月上旬、4チーム以上参加、優勝表彰、景品
- 6) マレットゴルフ大会：10月上旬、80人以上参加、優勝表彰、景品
- 7) 県外交流会：11月中旬、平成21年より11年連続で県外の老連と交流会を実施し、クラブ数、会員数の減少について、特色のある事業についてなど意見交換を行っています。

平成21年 山梨県笛吹市、22年 新潟県上越市、23年 群馬県渋川市、24年 岐阜県高山市、25年 新潟県新潟市、26年 茨城県小美玉市、27年 岐阜県中津川市、28年 富山県魚津市、29年 山梨県甲府市、30年 埼玉県秩父市、令和元年 群馬県安中市

8) 男性料理教室：11月下旬から12月上旬、8会場で開催し、150人以上参加



男性料理教室

9) シルバースポーツ教室：1月下旬から2月上旬、7会場で開催

10) ファミリースマイルボーリング大会：3月下旬、10チーム以上参加、小学生を含めた三世代で開催。優勝表彰、小学生には図書券等の参加賞

11) 会報「福寿だより」の発行：10月、3月の年2回発行

12) パソコン教室：通年、前期と後期に分けて開催。教室は初級、基礎、応用A、応用Bの4クラスで各レベルに合わせクラス分け

13) 金婚祝賀：会員で金婚式をむかえたご夫婦に記念品

4 会員増強について

会員増強対策として市からの補助金をもとに、以下の奨励金を各支部、各単位クラブの活動費としてさしあげています。

1) 会員加入促進運動：新規会員がある場合

2) お茶のみサロン設置促進運動：会員が一堂を会して飲食したり、会話を楽しんだりすることができることを目的に設置された集会であること

3) 健康ウォーキング推進事業：10人以上でウォーキングを行い、写真を2枚程度提出してもらう

4) 施設訪問事業：年一回以上高齢者施設訪問を実施したクラブ

5 課題と今後の活動について

「上田地域福寿クラブ連合会」では、次年度より、市への補助金申請書類の簡素化を推進していきます。従来提出していた資料が、各クラブの総会の資料を利用すれば、今まで10ページであったものが、4ページでよくなり、半数以下となります。

この実施により、長年わずらわしかった案件の解消につながり、クラブ数の減少の一つの原因がなくなると思います。



県外交流会



佐久市

内山町老人クラブ

1 地域の概況

佐久市内山地区は、佐久市の中においても特に観光資源に富み、国道沿線の山並みは、奇岩怪石の景勝地で知られる内山峡です。街道を抜けると群馬県で、群馬県境には勇壮な荒船山の絶壁が眺望でき、一帯は昭和44年に、妙義荒船佐久高原国定公園に指定され脚光を浴びてきた山紫水明の地であります。



コスモス街道

2 老人クラブ（単位クラブ）の状況

(1) 会員数等

区分	会員数（人）			備考
	男性	女性	合計	
平成30年度	25人	8人	33人	
令和元年度	22人	9人	31人	
令和2年度	17人	9人	26人	

(2) クラブの運営

私たち内山町老人クラブは、昭和 47 年に始まり、コスモス広場の植栽管理を中心に、環境美化、緑化活動を行い、全国的に知られる「コスモス街道」と共に歩んできました。

平成に入り会員の年齢が高くなり、内山地区老人クラブ連合会が衰退し自然淘汰される中、町上区・町中区・町下区からなる、「内山町老人クラブ」がコスモス広場の植栽管理と湯茶接待所の運営の中心的役割を担うようになりました。

会の組織は 9 班に分かれ、この班長と会長・副会長兼会計・女性部長・コスモス部長・監査で役員会を構成しています。

会の運営は、市からの補助金と区からの若干の補助金と 1 人当たり 2,000 円の会費はで運営しています。



コスモス祭り

3 自治区（町会）との関係

老人クラブの会員の高齢化と会員の減少により単老も減る問題などがあり、平成 3 年より内山区長会を中心に、区民総出でのコスモス街道作業へと移り変わっていきました。

佐久高原コスモスまつりは、今年は新型コロナウイルス感染防止対策のため中止となってしまいましたが、昨年の令和元年で第 32 回を数え、区民総出で、年間を通じてコスモス美化活動を推し進め、イベントが盛り沢山です。

4 活動（事業）の取組状況（昨年実績）

内山町老人クラブの活動の特徴は、コスモス街道と共にあることです。

- 1) コスモス畑の苗代づくり：4月上旬に耕耘作業、5月中旬に種蒔き
- 2) コスモスの苗の植え付け：5月上旬に肥料を散布、下旬に耕耘作業と草取り作業、6月中旬に植え付け、うねま 90 センチ、株間 60 センチに 2～3 本ずつ植えていきます。7月初旬に土寄せ作業を、中旬から 8 月にかけて 3 回全面草刈りを行い、コスモスまつりを迎えます。



うね間土寄せ作業

- 3) コスモスまつり：来訪された皆様の休憩処として「湯茶接待所あおぞら」を開設し、お茶とともに、メンバー手作りの、漬物やカボチャの煮つけなどのお茶請けを持ち寄り、立ち寄った皆様には大変喜ばれてきました。
- 4) 来訪者感想文集「あおぞら」の発行：「湯茶接待所あおぞら」には、来訪者が自由に記載できる感想文ノートを置き、11月に来訪者感想文集「あおぞら」として発行
- 5) 種取と枯れ枝の刈り取り作業：10月に種取と枯れ枝の刈り取り作業、種は乾燥させ、次の年のまつりに配るため 500 袋、袋詰め、11月に来年のための耕耘作業を行い 1 年が過ぎます。

- 6) 社会奉仕活動：荒船神社と津島神社の春祭り・秋祭り前の清掃や境内の草刈りや落ち葉拾い



神社の落ち葉拾い

5 課題と今後の活動について

会員の平均年齢が81歳で、活動というよりも労働を強いる会に年間の事業計画通り、その都度、班長を通じ通知を出し、健康上の問題等で1割程度しか参加できない会員もいますが、多くの方は、唯一のコミュニケーションの場として率先して顔をだしてくれます。

また、休憩時間には役員会で案をたてた旅行やお楽しみ会の予定を告げると、疲れも忘れ笑顔に戻られます。身体に気を付けてと声をかける、本当に頭が下がる思いです。

一般の区の役員等は任期がありますので、任期中の任務で済む場合が多いですが、コスモスを咲かせるための作業は1年を通してのものであり、町老人クラブの会員である限り、体力の続く限り従事しなければなりません。

新規会員を募る材料を模索する余裕もなく、まずは会員が1人でも多く参加できる活動、脱退者を生まない活動を目指しているところです。



伊那市

川北町高齢者クラブ

1 地域の概況

私たち川北町は、伊那谷と木曾谷を結ぶ、権兵衛峠から天竜川へ合流する小沢川に沿った水田地帯に位置しています。昭和 22 年頃から宅地化がすすみ、現在 210 戸程の集落です。

最近の子育ての時代を過ぎて、65 歳以上の高齢者の居る世帯が 127 世帯で、高齢者のみの世帯が 50 戸程に増え、2 人世帯 (23 戸)、1 人暮らし世帯 (24 戸)、空き家も散見されるようになってきて、町全体がさびしくなっています。

人口は 481 人、65 歳以上の方が 192 人、高齢化率は 40% で、少子高齢化が進んでいる地域です。



権兵衛峠

2 老人クラブ (単位クラブ) の状況

(1) 会員数等

区 分	会 員 数 (人)			備 考 (加入率)
	男 性	女 性	合 計	
平成 30 年度	43 人	36 人	79 人	(41.5%)
令和元年度	44 人	39 人	83 人	(43.2%)
令和 2 年度	42 人	43 人	85 人	(53.7%)

(2) クラブの運営

川北町高齢者クラブは、昭和 41 年、川北町老人クラブとして誕生した後、老人会に名前を変え、現在の高齢者クラブへと発展してきて、45 年の歴史があります。

年齢が重なり、病などによって活動できなくなっても、脱退することなく、仲間同志、みんなで励まし合いながら、生きがいをもっていただけるよう心がけています。

年会費は 1,000 円。同一世帯複数いる場合、1 人目は 1,000 円、他は 500 円、88 歳以上は 500 円、93 歳以上の方は会費を免除して準会員となっています。

情報連絡文書は、回覧ではなくて、すべて全戸に班長が届け、手元にあると日時など忘れることが少なくなり、とても良いと喜ばれています。



碁

3 自治区（町会）との関係

自治区の町総代は、推薦により選出され、毎年高齢者クラブ員から選ばれています。

民生児童委員 2 名も 66 歳と 72 歳の会員で、相談役 2 名もクラブ会員から選ばれており、このように自治区との連携は密接で、私たちの喜びとなっています。

4 活動（事業）の取組状況（昨年実績）

川北町高齢者クラブの活動の状況ですが、健康づくりとふれあい交流を兼ね備えた、マレットゴルフ、ボッチャ、碁や手芸などを主体に楽しく活動しています。

1) マレットゴルフ：毎月第1・第3・第5火曜日、歩くことを主体として活動しており、その場での野菜苗の出来具合の話から収穫物の交換など、また町内外の情報の交換の場となっている。また市高連の大会に10名が参加。

2) レクリエーション「ボッチャ」実施：12月、防犯・交通安全教室、参加25名

3) 囲碁：毎月1回開催。楽しむだけでなく、頭の体操で交流することを目的としている。

4) 文化祭：11月、川北町クラブの歌集から歌を披露。技能伝達講習会で作成した手芸作品を展示。

5) 研修旅行：6月、安曇野市方面、穂高神社参拝 参加18名

6) 理事者と民生委員との福祉交流会開催：3月、参加26名

7) 社会奉仕活動：5月、川北町の花畑づくりと植付け作業

7月、公民館庭木剪定、通学路整備作業 参加31名

8) 技能伝達講習会：8月、参加10名

9) 9月、川北町クラブの歌集30冊作成

10) 友愛活動：会員見舞金、台風19号義援金1万円送金



保育園児と交流会

5 会員増強について

毎年5名以上の新会員増を目標に、会員に呼びかけ、7年連続で6名の新規加入があり、合わせて41名増え、現在83名となり、平成25年に比べて倍増しました。

これは、会員の病気や事故などによる入院見舞金を行い、葬儀には参列して香典と花づくりなどの活動に参加して貢献した内容の弔辞を表しする地道な日々の活動が、ご遺族、親戚の方々から感謝されて、このことが後継の会員増強につながっていると感じています。

6 課題と今後の活動について

年会費を収めるのみの会員の方に、どうすれば参加して頂けるか課題としています。



公民館の剪定作業



駒ヶ根市

市場割 寿老会

1 地域の概況

駒ヶ根市は西に中央アルプス東に南アルプスと二つのアルプスが映え、間を天竜川が流れる伊那谷の中にある。人口は 32,145 人という小さな市です。

私たち市場割区は、飯田線小町屋駅東方 1km の所に赤穂高等学校があり、その南北に細長い区でして、美須津保育園、大御食神社があり、住宅団地が 2 つある、住宅と農地が混在する風光明媚な集落です。地区の人口は 1,652 人、664 戸（ともに令和 2 年 1 月 1 日現在）、65 歳以上は 528 人です。高齢化率は 31.9% で、駒ヶ根市全体の高齢化率（30.5%）と比較すると若干高め地域の地域です。



中央アルプス 駒ヶ岳

2 老人クラブ（単位クラブ）の状況

(1) 会員数等

区 分	会 員 数 (人)			備 考
	男 性	女 性	合 計	
平成 30 年度	39 人	24 人	63 人	
令和元年度	39 人	26 人	65 人	
令和 2 年度	41 人	30 人	71 人	

(2) クラブの運営

私たち市場割寿老会の名称は、長生きすることはめでたいと祝うことからこの名称になったと言われています。会の発足は昭和 23 年で、数名の年寄で五平餅会を行ったことが発足のきっかけです。

会の組織は 9 班に分かれてこの班長と厚生部長、社会部長、教養部長と三役会計で合計 16 名役員会を構成しています。



芸能祭

会の運営は駒ヶ根市からの補助金 44,000 円と市場割区からの補助金 130,000 円、会費年額 1,000 円、市高連からの活動助成金で運営しています。

3 自治区（町会）との関係

寿老会は市場割区から補助金を交付されているものの運営、活動は市場割区から独立しています。成人式の式典前の大御食神社の清掃、敬老会への出席と余興、区民運動会、区民文化祭への参加をして地域社会へ繋がりを持っています。

4 活動（事業）の取組状況（昨年実績）

- 1) 市場割寿老会には、趣味とふれあい交流を兼ねてグラウンドゴルフクラブ、カラオケクラブ、詩吟クラブ、写真クラブの 4 つのクラブがあり、毎月 1 回～2 回それぞれにクラブ代表及び会計をおいて楽しく活動し、5,000 円の活動助成金を出しています。クラブの練習成果は敬老会及び市高連の芸能祭で披露しています。

ア 写真クラブ：市高連作品展及び市場割区文化祭に出展

イ 詩吟クラブ：市場割区敬老会及び市高連の芸能祭で練習の成果を披露

ウ カラオケクラブ：区の敬老会及び市高連の芸能祭で練習の成果を発表

2) 社会奉仕活動

ア 大御食神社の清掃を行い神社から感謝状をもらうなど地域社会に貢献

イ 世代間交流を兼ね、美須津保育園の草取り及び剪定作業、その後に園児と交流

3) ふれあい交流と健康増進：年4回（4月、7月、12月、2月）健康教室の後の仏教講話、手芸教室及び料理教室（五平餅会、ぼた餅作り）



五平餅会

4) 健康教室：介護予防体操、料理教室の五平餅会

5) 会員親睦旅行：日帰り旅行を辰野町でマレットゴルフ大会

6) 市場割区分館主催のしめ縄作り

7) 市議会傍聴

8) 機関紙「寿峰」の発行

5 会員増強について

市高連の主導による会員加入促進委員を置き、その人を中心に班長が推薦し加入促進委員が同行して加入を承諾してもらっています。また、勧誘チラシを区長さんに依頼して区民に隣組回覧しているが、これはあまり効果がありません。戸別訪問すると効果があります。

また区の敬老会において、会長が出席者に寿老会の活動状況を説明してその場で即加入していただき、「あなたは寿老会に入って何をやりたいか」を伺って寿老会が対応していきます。

6 課題と今後の活動について

市場割寿老会の活動の中心は、後期高齢者で、特に80歳代の会員の参加が主で、会員といっても、健康上の理由で活動に参加できなくなる方もいますが、なるべく名簿に残ってもらうようお願いしています。

また、男性会員は多いが女性会員が少なく、男性ばかりの班が2つあり、これは夫婦での加入がなされていないのが原因と考え、なるべく多くの夫婦での加入を促しています。

高齢者再雇用制度ができ、70歳まで働く方が多く、60歳代の加入は難しくなっており、後期高齢者になったのを機に、入会してもらうようにしています。（活動期間が短いことを説明する）

また区長を務めた方には、区長任期終了後速やかに入会してもらうことになっています。今現在、会員が65名ですが、これを80名にすることを目標にしています。



健康教室



岡谷市

岡谷市高齢者クラブ連合会

1 地域の概況

岡谷市は、長野県のほぼ中央に位置し、松本市、下諏訪町、塩尻市、諏訪市や辰野町と接しています。諏訪湖の西岸に面し、八ヶ岳連峰や富士山を望むことができます。また、諏訪湖唯一の流出河川に臨み、ここより天竜川が発し、遠く浜松に達しています。面積は長野県内の市の中で最も小さく、人口密度は県内の全市町村の中で最も高い市となっています。人口は48,812人、65歳以上は16,466人で高齢化率は33.9%です。



諏訪湖を望む

2 老人クラブ（単位クラブ）の状況

(1) 会員数等

区 分	会 員 数 (人)			備 考 (加入率)
	男 性	女 性	合 計	
平成30年度	606人	590人	1,196人	(7.2%)
令和元年度	595人	567人	1,162人	(7.0%)
令和2年度	562人	485人	1,047人	(6.3%)

60歳未満	60歳～	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～
2人	2人	43人	113人	202人	310人	220人	155人

(2) 連合会の運営

岡谷市高齢者クラブ連合会は、「岡谷市百歳倶楽部」として発足し、「岡谷市老人クラブ連合会」を経て、そして現在の「岡谷市高齢者クラブ連合会」という名称となりました。現在は17地区の単位クラブで構成されており、令和2年度の会員数は1,047名で、男性562名、女性485名となっています。

連合会では、月に一度、各単位クラブの会長と女性部による理事会を開催しています。理事会では、活動の課題検討や、催し物の計画などをしております。

また、区長会長、市議会副議長、市健康福祉部長、市社協会長、市社協副会長、市社協事務局長と連合会会長、連合会副会長2名で座談会を開き、高齢者クラブ連合会の活動や今後について話し合いを行っています。



体育大会

3 活動（事業）の取組状況（昨年実績）

- 1) 第20回カラオケ大会：6月12日（水）おかや総合福祉センター
- 2) 第41回体育大会：7月17日（水）岡谷市民総合体育館
- 3) 第27回マレットゴルフ大会：10月9日（水）湖畔広場マレットゴルフ場
- 4) 第37回芸能祭：11月20日（水）男女共同参画センターあいとぴあ
- 5) 第18回ボーリング大会：1月15日（水）スポーツ岡谷
- 6) 第41回高齢者作品展：2月15日（土）～17日（月）おかや総合福祉センター
- 7) 硬貨募金の実施：10月～12月
- 8) 女性部長会：年2回 …4月24日、1月22日
- 9) 市政懇談会： 連壮・連婦・高連三団体
- 10) 女性部研修会及び講習会（手芸等）：年間随時
- 11) 各種社会奉仕活動の実践、研修会及び講習会、趣味教室の開催：年間随時

4 「岡谷市高齢者クラブ連合会だより」の発刊と会員増強について

毎月第一水曜日に開催する理事会にて、会員数の減少が顕著となり、何か対策をたてなければ会員の減少を食い止められないとの課題について、事務局である岡谷市社会福祉協議会の担当事務次長が中心となり、連合会三役会で検討することになりました。

平成30年7月頃、様々な会報の発行を手掛けている(株)ニチコミという業者にて、連合会の経費負担なしで会報を発行できるとの情報があり、まずは三役会にて検討し、10月には理事会で各単位クラブの会長にも説明をして了承を得ました。



作品展

その後、それぞれの地区のクラブから、クラブを紹介する原稿を集め、翌年の平成31年2月に創刊号を発刊。3月には各クラブの全会員に配布するとともに、区長会にお願いして岡谷市全世帯を対象に回覧板を回すことが出来ました。回覧板で市民に高齢者クラブの活動を知っていただくとともに、会員の増強につながることを願っています。



マレットゴルフ大会

5 課題と今後の活動について

当連合会は現在1,047名が加入しており、地域の仲間づくり、体力の維持や健康増進を図っています。高齢化社会と言われるなかで自立して、健康で社会参加も積極的に行うことが、地域の方々からも尊敬されることに繋がると思います。

岡谷市高齢者クラブ連合会は、連合会の活動を通して、会員全員が誇りを感じる会の運営に努めなければならないと改めて考えています。



カラオケ大会



ボーリング大会



豊丘村

福島高齢者クラブ福寿会

1 地域の概況

私たち福寿会のある豊丘村は、長野県の南部、飯田市の北東に位置し、天竜川が形成した日本一とうたわれる河岸段丘の中心に位置しています。東は伊那山脈を境に大鹿村・飯田市、北は間沢川を挟んで松川町、南は壬生沢側を挟んで豊丘村、西は天竜川を隔てて高森町に接しています。

地形は、伊那山脈最高峰の鬼面山（標高 1,890m）を頂点に、天竜川まで西向きに河岸段丘を形成しています。赤松林が多く、秋に収穫される特産の「まつたけ」が有名です。

福島地区は豊丘村の上段地域で、標高 650m～800mの位置です。戸数は 58 戸で村営住宅が 3 戸あります。人口は減少気味で高齢化率は増加傾向にあります。



てっぺん公園 イルミネーションイベント

2 老人クラブ（単位クラブ）の状況

(1) 会員数等

区 分	会 員 数 (人)			備 考 (加入率)
	男 性	女 性	合 計	
平成 30 年度	34 人	40 人	74 人	(92.5%)
令和元年度	35 人	39 人	74 人	(93.6%)
令和 2 年度	35 人	39 人	74 人	(92.5%)

65 歳未満	65 歳～	70 歳～	75 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～
11 人	18 人	17 人	12 人	7 人	4 人	5 人

(2) クラブの運営

会の組織は会長、副会長、会計係、女性部長・副部長各1名で役員会を構成し、会計係が事務局を兼ねています。

会員の皆さんが協力的でどの事業にも積極的に参加してくれるまとまりのあるチームです。



ミニデイ

3 自治区（町会）との関係

私たちの地区は、戸数58戸で大半の人達が60歳以上ですが、地区の神社、公園、集会所の環境整備にクラブ員全員が携わり裏方的存在となり支えており、若い皆さんもイベント等に協力的で、全区民の皆さんが一致団結し各事業に取り組んでいます。

4 活動（事業）の取組状況（昨年実績）

1) 福寿会の活動の特徴

平成26年に新設された福島てっぺん公園と大きくかかわっています。福島てっぺん公園には、村外からの来客も多く、福寿会では豊丘若者ネットワーク「とよりんく」に協力し、公園の日々の環境整備をはじめ、イベントの準備や開催のサポートをし、毎年7月の竹灯籠まつり(30名参加)、12月のイルミネーションイベント(30名参加)は大盛況となっています。

2) 教養活動

- ア 連合会の講習会、研修会、芸能大会 23名
- イ 健康料理教室 15名
- ウ 世代間交流事業：小学生、保育園児と「おやす作り」30名
- エ 昼食交流会：5月40名、6月16名
- オ 交通安全、特殊詐欺防止：夏季集会で駐在所の深水さんの話や、民生児童員 宮下美子さんの話 28名
- カ 冬季集会で社協宮下さんの話や地元片桐村会議員より村政報告会 21名

3) 社会奉仕活動

- ア 神社清掃：年3回、当番制 15名参加
- イ 福島てっぺん公園草取り・草刈り：5月・8月に50名参加
- ウ 拠点施設パノラマ公園草刈り・清掃：5月5名、9月25名参加

4) 健康づくり活動

- ア 連合会ゲートボール大会7名参加
- イ 連合会マレットゴルフ大会5名参加
- ウ 福寿会マレットゴルフ大会：8月19名参加
- エ 地域ミニデイサービス：月1回開催

5) ふれあい交流会：親睦旅行、敬老会・新年会実施しています



マレットゴルフ大会

5 課題と今後の活動について

高齢化により、活動できる委員の減少していることが課題ですが、現在の健康を維持して長く会への参加をお願いしたいと思います。



芸能大会



灯籠まつり準備